第５２号　2011.09.13.
教育振興運動メールマガジン
「みんなで教振！」通信　　～ 今こそ“地域の底力”で立ち上がろう ～

＜　目　次　＞

１【 教育振興 】今、必要なことは
２【 教振は今 】教ちゃん、振ちゃん見聞録
３【 編集後記 】あつしのひとりごと
４【みんなの声】ぺっこ言い隊

１【 教育振興 】今、必要なことは

震災から半年。避難所が閉鎖され、仮設住宅の入居がほぼ完了しました。この震災で、「幸せな生き方」や「地域とのつながり」といった私たちの価値観は変わり、子どもたちを取り巻く生活環境も否応なく変わりました。

子どもたちを取り巻く地域の教育課題を、子ども自身を交え、それぞれの立場の大人が集まって話し合い、その解決に向けて取り組むことが教育振興運動であれば、この価値観や生活環境の変化への対応と課題の解決こそが、今、教育振興運動で取り組むべきことではないでしょうか。

例えば、仮設住宅に入居した子どもたちの組織化（子ども会の再編）や地域全域の推進組織・実践組織の再編成が必要な地域もあることでしょう。子どもたちを中心に据えた活動を展開すると、大人のネットワークづくりや高齢者との交流も楽しみながらできます。

また、仮設住宅の集会施設を開放して、子どもの遊び場を設けることも必要でしょう。遊びだけではなく、中高生の勉強の場として活用することも大切です。仮設住宅という家庭学習が困難な環境の中で、受験に向けての学習環境を整えていくことも教育課題の解決でしょう。

昼は大人・高齢者の居場所、夕方は小学生の居場所、夜は中・高校生の勉強の場が必要です。例えば、行政の協力を得て「緊急雇用創出事業」を活用して、地域の方を雇用し、居場所づくりに取り組むこともできます。その際には、保護者の励ましと子ども自身の自覚も必要です。

被災地では今、居場所を兼ねて、中高生の勉強の場の開設が相次いでいます。
〇夏休み中の学習支援
・「寺子屋千葉大」（陸前高田市立第一中学校にて開催。大学生ボランティアの協力のもと実施）

・「たく塾」（石巻市立雄勝中学校にて開催。塾講師や大学生のボランティアの協力のもと実施）

〇毎日の放課後学習支援

・「ゾンタハウス」（山田町にて開催。ＮＰＯ法人により運営）

・「女川向学館」（女川町教育委員会とＮＰＯ法人により運営）

内陸地域で取り組むべき教育課題としては、生き方教育やボランティア教育、防災教育があげられるでしょう。奥州市では、防災について学び、困った時は助け合う気持ちを育む「防災キャンプ」が実施されました。中学生（ジュニア・リーダー）が小学生のお世話をすることで、リーダーシップも身につきます。
チラシ⇒http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/01bousaicamp.pdf

「平成 22 年県民生活基本調査」によると、普段から災害に備えて準備している人は約３１％しかいません。準備している人の中で、避難所や避難経路を確認している人は約４５％、地域の避難訓練に参加している人は約３３％です。震災後も、このまま・・・で、よいでしょうか。
調査結果⇒http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/02tyousa_bousai.pdf

これまでの取組に縛られることなく、今、取り組む必要がある教育課題を考え、取り組んでいきましょう。

２【 教振は今 】教ちゃん、振ちゃん見聞録

（教ちゃん）マル・マル・モリ・モリ　みんな、食べるよ~。ツル・ツル・テカ・テカ　明日も・・・。
（振ちゃん）わん！
（教ちゃん）晴れるかな～？
（振ちゃん）ど、どうしたの？思わず、ムックの鳴き声を入れちゃったよ。
（教ちゃん）ねぇ、ねぇ。芦田愛菜ちゃん（７歳）って、すごいんだよ。
（振ちゃん）今日の教ちゃんには、ついていけない・・・。
（教ちゃん）読書が大好きなんだって！それでね、月に３０～４０冊も読んでるの。１日に１冊以上読んでいることになるわ。幼稚園の時は、月に６０冊読んでいたんだって。
（振ちゃん）テレビ出演などで忙しい中、すごいね。
（教ちゃん）それでね。どんな本を読んでいるかというとね。知りたいでしょ。
（振ちゃん）うん。うん。
（教ちゃん）「ヘレン・ケラー」や「ゆうれいでんしゃ」が好きなんだって。
（振ちゃん）やっぱり、たくさんの本を読んでいるから、言葉が豊富だったり、表現が豊かだったりするんだね。
（教ちゃん）そうね。私も、これからたくさん本を読んで、女優になるわ。
（振ちゃん）あの、もしもし・・・。

３【編集後記】あつしのひとりごと

「２０歳だろうが８０歳だろうが、学ぶことを止めたら老いてしまう。」（ヘンリー・フォード；フォード自動車創業者）

岩手県の生涯学習に取り組んでいる人の割合は、約３４％（平成 22 年県民生活基本調査より）という結果が出ています。フォードの言葉によれば、岩手県は実年齢のみならず、学習意欲・好奇心においても高齢化が進んでいると言えるかもしれません。
調査結果⇒http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/03tyousa_learning.pdf
⇒http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/04tyousa_learning2.pdf

「学習とは、机に座って誰かに教わること」と思い込んでいませんか。もっと広く、自らが知りたいと思ったことに取り組むことが「学習」です。皆さんも、今まで知らなかったことを知る、興味のあることが上手になるなどの経験したことがあると思います。

読書、料理、編み物などの趣味のスキルアップ、パソコンなどの技能の向上、コンサート・博物館・美術館に行く・・・、心あたりありませんか。これらも、生涯学習です。そう考えると、生涯学習に取り組んでいる人の割合は、本当は１００％なのだと思います。

今は、インターネットで調べ、新しい知識を身につけることができます。さあ、次のアドレス「子育てに読み聞かせ」をクリックして、レッツ、生涯学習！
子育て情報⇒http://kodomo-dokusho.medc.jp/yomikikase/index.html

４【みんなの声】ぺっこ言い隊

教振メルマガを、いつも興味深く読ませていただいております。先生の知識の豊富さと教養の高さにいつも感心しています。
さて、本市教育長は教育振興運動のことをもっと勉強したいとのことでしたので、教振メルマガを直接教育長に送ってもらえたらと思います。
（Ｋ市　Ｓさん）

★メルマガの感想や日頃思っていること、意見・要望をお寄せください。
⇒ 21kyoushin@gmail.com
⇒ 第５３号は、９月２７日（火）配信です。
★バックナンバー（第 1～51 号）はこちら。
⇒ http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/indexk_bn.html

★全県共通課題（家庭学習と読書推進）の実践事例はこちら。

⇒　http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/indexk_zj.html

★メルマガで紹介しました資料はこちら。

⇒　http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/indexk_s.html

～～～配信元～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

＊岩手県教育委員会事務局　生涯学習文化課

＊発行人：教育振興運動担当　佐藤敦士（さとう　あつし）

転送はご自由です。どんどん転送してください。口コミは、あなたから始まります。「みんなでやろう！」という雰囲気をあなたから作りだしてください。

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～